



後期期末試験

政治範囲

彼女と政治わず♥
につかっていいよ！

民主政治と民意

〈選挙の目的〉国民の民意(意思)を政治に反映させるため。

⇒投票によって民意が測定される。

⇒また、世論調査やマスメディアでも民意が表現

選挙の基本原則

- ・普通選挙 一定の年齢に達したすべての国民に選挙権を保障
- ・平等選挙 一人ひとりの投票の価値を平等に扱う
- ・秘密選挙 投票の自由を保障（無記名で投票）

彼女から補足 ♥

かつて身分、財産、性別などによって選挙権・被選挙権を制限した制限選挙が行われてきたぞ。

1925 年には性別が男のみの男子制限選挙が行われたのだ。（1945 年に男女平等）

納税額によって選挙の資格が得られた時代もあったぞ。

また、フランスでは今も身分制の選挙があるぞ。

それから、記名投票というものもあるぞ↓

議長が必要とするもの、または議員の 5 分の 1 以上の要請で、投票箱まで行き、記名投票を行う。投票箱に白札（賛成）青札（反対）どちら入れるか一目瞭然

そして、平等選挙では、今は一票の格差が問題となっているぞ。

一票の重さが違うと平等とは言えなくなるのかもな。



選挙制度の種類

大選挙区制

選出方法：1つの選挙区から**2名以上**の代表者を選出

特徴：**死票**が少ない **少数政党**に有利 少数意見の反映

小選挙区制

選出方法：1つの選挙区から**1名**の代表者を選出

特徴：**死票**が多い **大政党**に有利 安定政治が可能

(**中選挙区制**もあり、大選挙区制と小選挙区制の両方の長所をもつ。)

比例代表制 → ドント式で計算

選出方法：国民が政党に投票し、**各政党の得票数に比例**して議席分を配分

特徴：**死票**が少ない **少数政党**に有利 **公平な議席配分**

〈衆議院〉小選挙区制+比例代表制 → **比例代表並立制**

〈参議院〉選挙区制+**非拘束名簿式比例代表制**



衆議院は小選挙区制と比例代表制
の両方に出馬できるぞ。
チャンスいっぱいだな。

日本の選挙制度の現状

〈議員定数の不均衡の課題〉

一票の格差 …選挙区ごとの有権者数と議員定数の割合、すなわち**当選**するのに

必要な票数(一票の価値)が選挙区間で差が生じていること。

⇒平等選挙の原則に反し、**違憲**

〈公正な選挙を実現するための規制、投票者の関心向上〉

公職選挙法により規制(個別訪問の禁止、文書図画の規制、**連座制(連帯責任)**)

公職選挙法の改正(ネット選挙、**在外邦人**の投票、投票時間の延長)

政党の役割と政党政治

政党…政治に対して共通の意見や利益を持った集団

→政策や**マニフェスト(政権公約)**を掲げて、政権の獲得を目指す。

与党： 選挙で多数の議席を獲得し、政権を担当する政党。

議院内閣制の場合、リーダーが**首相**となり内閣を構成する。

野党： 政権政党の政策を批判し、行政を監視する政党。

⇒政党の対立や連合を通して動く政治の在り方を **政党政治** という。

マニフェストは政策実施に必要な財源
やいつまでに実現するかという期限を
しめす必要があるぞ。



〈政党政治のタイプ〉

一党制： 政党が一つしかないタイプ

二大政党制： 2つの有力な政党が対抗(アメリカなど)

→小選挙区制によって生じやすい

多党制： 3つ以上の有力な政党が対抗(ドイツなど)

→比例代表制によって生じやすい

〈戦後の政党政治〉

1955 年～	社会党の再統一，自民党の誕生 55年体制…保守政党と革新政党が保守優位のもとで対抗 …自民党が政権維持
1993 年	非自民連立政権，細川内閣の誕生（さまざまな政治改革） →政治資金規正法，政党助成法，小選挙区比例代表並立制の採用
2009 年	民主党，衆議院議員選挙で単独過半数（政権交代） →社民党，国民新党と3党連立政権が発足
2012 年	自民党，衆議院議員選挙で単独過半数（政権交代） →自公連立政権復活



教科書の 150 頁を熟読すること
を推奨するぞ。

政治参加と世論(152～155 頁)

利益団体と大衆運動

圧力団体…共通の利害のもとに組織された**利益集団**。

政治や行政に影響を与える活動をしている。

大衆運動…なんか自発的にやってる。

より広い階層の意見、信条、利益とか特定の社会問題について社会や

政治に訴えて世論形成を図ろうとしているぞ。近年は特定の問題に

だけ活動する**単一争点集団**が増えてるんだと。

〈情報化時代のメディアと世論〉

マス・メディアや電子メディアが発達し、政治についての情報が大量に流されている。

⇒**世論**を作り操作する作用を持っている。



彼女から補足 ♥

なーんて。

ないんだよなあ、それが。

政治参加の停滞と新たな可能性

〈政治参加の停滞〉

日本では近年、投票率の低下や支持をする政党がない無党派層の増加が問題にな

ることが多かった⇒政治的無関心や政党離れが広がった結果

〈新たな可能性〉

・ネットで政治的な討論をしたりして世論を動かし、政治を動かそうとする活動

e デモクラシーや、住民投票などで政治に参加し、新しい民主政治の姿を作って

いくことが期待される。

・2007年に国民投票法で、憲法改正に関する国民投票の投票権年齢を18歳にす

ると定められた。

市民社会とガバナンス

1998年、NPO法（特定非営利活動促進法）が成立

⇒営利を目的とせず、公益の実現を目指して活動する団体に法人格を認め、その

活動を支援することを目的とした法律。

ガバナンス…政府と市民団体の協力によって、公共政策を作り実施する営み

ギリシアの思想 (48～51 頁)

〈哲学の誕生〉

- ・根源的な問い → 神話が答えていた。

紀元前 6 世紀頃 ギリシアにおいて、人間のもつ理性の力によって合理的に自

然の世界を説明しようとする **自然哲学** が誕生した。

タレス…水を万物の**根源 (アルケー)** と考えた

ピュタゴラス…世界の秩序を数に求め、世界には数的な比 (ロゴス) に基づく調

和 (ハルモニア) があると考えた。

ヘラクレイトス…万物の根源を火とした (万物は流転する)

エンペドクレス…火、空気、水、土 (四元) が万物の構成要素

デモクリトス…無限にひろがる空虚のなかを運動する原子 (アトム) の集合と離

散によって、世界のあらゆることを説明しようとした。(原子論)

よく生きる ソクラテス

〈知を愛し求めること〉

- ・善や正の意味について、無知であることを自覚…無知の知

📖 学ぶことの出发点

- ・知を求めるようになる

→ソクラテスは知を愛し求めることの大切さを訴えた

📖 =フィロソフィア（哲学）

- ・ソクラテスの方法…対話を通じて認識を深め、真の知に迫っていく = 問答法

- ・ソクラテスの最大の関心事⇒ただ生きることでなく、よく生きること

=善や正を真に知ろうとすること

- ・人間の真の姿= 魂（プシュケー）



魂をよいものとするよう、絶えず世話をすべき = 魂への配慮を訴えた。

〈知と徳〉

善や正を知る⇒魂がよいもの・正しいものになる

⇒魂の優れたあり方である徳（アレテー）の実現 = 「徳は知」 知徳合一

よい行いや正しい行いの実行 = 知行合一

よく生き、幸福に生きることができる = 福德一致

ちょっと補足♥

ソクラテスの友人が「ソクラテスに優る知者はいない」と神からお告げを得たらしい。



彼女から補足♥

このころは直接民主制の進展に伴って、弁論術を教える教師であるソフィストが活躍したぞ。

また、ソクラテスは死刑判決を受けたんだけど、不正を拒んで刑死したのだ。



理想主義 プラトン

- ・人間に確実な知をもたらすもの…**理性**
→理性によってとらえられる物事の真の姿=**イデア**
- ・イデアの世界…かつて人間の魂があった場所。**完全**で永遠
→イデアの世界を思い起こし、イデアにあこがれる。**不完全**=**エロース**
- ・人間の魂… **理性、欲望、気概**の3部分からなる
→理性が気概と欲望を統御、魂全体の調和 →**正義**の徳の実現
- ・国家の理性的な部分…**哲学者** ⇨ イデアを認識する
→哲学者が統治する**哲人政治**⇒正義の支配する**理想国家**の実現

現実主義 アリストテレス

- ・真の実在…**感覚**でとらえられる具体的な個々の事物
- ・事物の成り立ち
本質 (形相) →素材(質料)を得る→本質が現実化
- ・人間の形相…魂、人間にとっての徳…魂の優れたあり方
- ・徳に基づいた現実の行動や生き方⇒人間にとっての善が実現
→**倫理的徳(習性的徳)**…よい行為を反復することによって得られる徳
⇒勇氣、節制、正義など



人間は行為を通じて極端や不足を避けた **中庸** を選択

- ・**知性的徳**…教育を通じて理性が十分に働く状態(知恵、思慮など)
- ・人間の最高善…幸福 ←何かの手段とはならない、最高の目標
- ・人間に最高の幸福をもたらす生き方とは
…理性を純粹に働かせる**観想(テオリア)**的生活
- ・アリストテレスの人間観…人間は本性上、**ポリス(社会)**的動物である。
- ・共同体でいきるうえで欠かせないもの…倫理的徳の中の**正義**と**友愛(フィリア)**

アリストテレスは正義を二つに分けた。

- ・**全体的正義**…法を守るという広義の正義
- ・**部分的正義**…人々の間に公平が実現するという狭義の正義

彼女から補足♡

部分的正義は、名誉や財貨などを各人の功績に応じて配分する**配分的正義**と、裁判などで利害や得失が均等になるように調整する**調整的正義**に分けられるぞ。



人間の尊厳 (57～59 頁)

人間中心主義

ルネサンス…古代ギリシア・ローマ文化の復興

・人文主義…ギリシア・ローマの古典の研究

→人間の尊重、人間らしさの賛美、神を中心とするキリスト教から人々を開放

→人間中心主義 (ヒューマニズム)

〈理想とされた人間観〉

・万能人 (普遍人) …あらゆる分野で能力を発揮する理想の人間

ピコ＝デラ＝ミンドラの人間観

レオナルド＝ダ＝ヴィンチ 人間を主体的に世界をとらえる

自由意志…自分の生き方を自由に選ぶ →人間の尊厳

宗教改革

・ルネサンスの精神⇒キリスト教の信仰に影響



宗教改革…純粋な信仰の復活、教会からの自立

ルター…ドイツの神学者

①人間は信仰によってのみ救われる

②聖書だけをよりどころにするべき (聖書中心主義)

③すべての人は神のもとで平等な存在

近代自然科学の誕生

・自然観の転換

神を中心とする中世の自然観⇒近代の自然科学

→コペルニクスは古代以来の天動説を否定し、地動説を唱えた。

彼女から補足♡

純粋な信仰の復活の背景に、このころのキリスト教は免罪符ができるなど、かなり宗教的には生ぬるいものとなっており、「このままゆるゆるにやっていたら墮落して神に地獄に落とされるのでは・・・？そんなのは嫌だ！」という声が上がって宗教改革が起きたんだと。



知は力なり **ベーコン** ベーコンの主著「ノヴム-オルガヌム（新機関）」

〈新しい学問の求め方〉

…人間のうちにある偏見（**イドラ**）を取り除く

・人間の**経験**を重んじ、自然に対する観察や実験を通じて、確かな知識を得る。

→医学、天文学、地学など

個々の具体的な事実に対して観察や実験を行い、そこから一般的法則、原理を見出す

⇒**帰納法 経験から知識を得る方法**

〈経験を重視する立場〉

・知識の源泉を経験のうちに求める立場＝**経験論**

⇒学問の目標は、経験から得た知識によって人間の知識を豊かにすることができる。

…知は力なり

考える私 **デカルト** デカルトの主著 「方法序説」

〈ベーコンの方法との違い〉

・経験よりも**理性**を重んじる

・観察や実験よりも、理性による推理を通じて、確かな知識を得る。

〈確かな知識を得る方法〉

・確かな知識を得るために、すべてを疑う ＝ **方法的懷疑**

〈絶対に確実なもの〉

全てが疑わしいと考えている間も、そう考えている私は存在しなければならない

⇒**考える私** …決して疑うことのできないもの

「私は考える、それゆえに私はある」

〈新しい学問の方法〉

絶対確実な一般的法則・原理を前提として、理性による推理を行い、結論を導く

⇒**演繹法 理性による推理から知識を得る方法**

〈理性を重視する立場〉

・知識の源泉を理性のうちに求める立場 ＝**合理論**

⇒理性によって確かな知識を得ることで、人間は進歩していく。

物心二元論（心身二元論）

考える私…**精神**（理性） 人間の身体や自然…空間を占める**物体**

⇒精神と物体は独立した存在（**物心二元論**）

⇒人間（精神）…自由な主体/自然（物体）…法則に従って動く機械